

能登

広報のと
No. 53
2009.7

宇出津小学校の恒例行事「団結綱引き大会」が6月3日に行われました。紅白に分かれた全校児童は、元気いっぱい応援合戦を繰り広げ、力を合わせて綱を引きました。

団結綱引き



7
平成21年

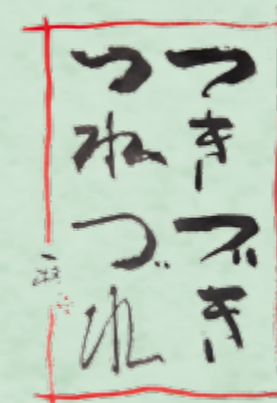


広報のと 第53号

平成21年7月1日発行

発行：能登町 編集：広報情報推進課
〒927-1049
石川県鳳珠郡能登町宇出津新1字197番地1

☎：0768-62-11000(機)
能登町URL：http://www.town.noto.shikawa.jp
Eメール：info@town.noto.lg.jp



ふみづき
文月

能登に恋した

抒情書家

むらやいしゅう しゆきん あやね
室谷一柁・朱琴・文音

が描く能登の12カ月



ほととぎす

自由自在に聞く里

は

酒屋へ三里

豆腐屋へ二里

文月は「ふみづき」とも

陰暦七月の異称である

七月は七夕の月

牽牛と織女の恋に

ささげる七夕祭の

短冊にかけて文月と

よぶそうな

鳥は
空に吸い込まれるように翔けていった

一年に一度、今頃になると私の空を飛んでゆく
空を飛ぶ鳥たちの名を私はわずかしら知らない
飛んでゆくその鳥を
今

私はじっとみつめている
ただじっとみつめている

羽が傷つき苦しんでいる時も私は祈るしかない
遠い空にむかって祈るしかない
ただ、祈るしかない
やがて 祈りは身体の一部になった

大空を舞う鳥
風や雨に打たれるたび みずみずしく生気を取り
りもどし 幾度もよみがえる
自由自在に 大空を舞う

私は 動かざる木になるために葉を繁らせ
枝をのばし 根を張ってふんばっている

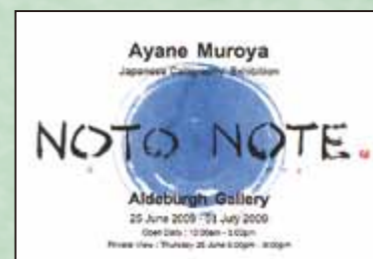
私は知っている
再び その鳥が羽を休めに
私の空を

必ず
飛びに来るのを

朱琴

室谷一柁・朱琴・文音

平成18年、京都府美山町から能登町大箱に移住した抒情書家。英国ロンドンと能登町を往復して活動する文音さんは現在、英国サフォーク地方のギャラリーで個展「NOTO NOTE」を開催している。9月の能登国際オープンテニスに合わせて帰国予定。



奥能登
に
抒情書家
あり
アトリエ
を
五友宿
という